

本会では、会員組合・組合員企業が健全に発展するよう様々な支援事業を実施しております。本号では、本会が支援に携わった新たな連携と販路拡大を目指した取組について特集にてご紹介します。

秋田の伝統的な漬物「いぶりがっこ」の統一ブランドを目指して

【秋田いぶりがっこ協同組合、秋田県漬物協同組合、横手市いぶりがっこ活性化協議会ほか】
(組合連携コーディネート事業)



秋田の伝統的な漬物である「いぶりがっこ」の人气が高まる一方で、県外業者による製法の異なるいぶりがっこの生産が拡大しており、秋田の漬物としての認識がない消費者が増えることが懸念されていました。

そこで、本会がコーディネート役となり、「秋田いぶりがっこ協同組合(大仙市 鈴木辰美理事長)」、「秋田県漬物協同組合(湯沢市 木村養市理事長)」、横手市いぶりがっこ製造業者のほか、行政、金融機関等に声掛けし、県内外の製造状況等についての懇談会を開催し、現状報告及び意見交換をスタートさせました。

県内のいぶりがっこ製造状況は、需要に対して供給が追いついていない状況であり、その主な理由として①大根を確保できない、②いぶし等に手間暇が掛かる、③手作業が多く、機械化には至っていないということが主な理由として挙げられました。

懇談会では、いぶりがっこが秋田伝統の漬物であるということを他県の消費者に認知してもらうためには、需要が供給を上回っている今こそ、県全体で「ブランド化」に取り組む必要があるとの認識から、伝統と産地を守るために地理的表示保護制度(GI)認証を目指し、県内統一の組織として「秋田県いぶりがっこ振興協議会」の設立を進めることにしました。

そこで、県南地区に複数存在していた「いぶりがっこ」関連グループを横手市いぶりがっこ

活性化協議会(会長 高橋一郎)として取り纏めたのち、県内3団体による秋田県いぶりがっこ振興協議会が平成29年1月23日に設立されました。

当面は事務局機能を本会が担いながら、29年度は製造工程の規格をはじめとした品質・技術の向上や販路拡大に向けた共同PR・販促活動等に取り組んでいくことにしております。

また、原料となる大根については県や金融機関が舵取りし、大根製造業者によるグループ懇談会を既にスタートさせており、いぶりがっこ製造数量拡大に向けた連携の強化が今後ますます期待されます。



【いぶりがっこを製造する県内3団体】

本会では、組合、任意グループ及び企業間が連携する機会づくりを応援しております。業界を越えた連携に興味・関心のある組合がありましたら、是非本会までお声掛け下さい。

【お問い合わせ先：事業振興部】

自社ギフト商品のブランド化による販路拡大に向けた取組

— 自社ギフト商品におけるブランドイメージ構築とパッケージデザイン制作 —

【株式会社シャディハッピー(風の松原セレモニー協同組合組合員)】

(ブランドチャレンジモデル事業)

当社では、数年前より「比内地鶏系×軍鶏系」オリジナルブランド白神地鶏のほか、ギフト用セット商品を店舗及びインターネットで販売していますが、商品のデザインに統一感がなく、高価な商品にも関わらず高級感を演出できていないのが課題でした。

当社の商品に対するこだわり(コンセプト)をデザインにしっかり反映させるため、①自社のブランドイメージの構築、②商品パッケージのデザイン制作の手順で専門家と本会担当者が二人三脚で、企業側と合意形成を図りながら進めました。



【支援内容】

- (1) 自社商品のポジショニングを確認
- (2) ブランドデザインの方向性の確認
- (3) フォント・モチーフの決定
- (4) 商品パッケージをデザイン

本事業の実施により、白神地鶏用の帯及びフライヤーデザインの他、白神地鶏、きりたんぼ鍋、じゅんさい鍋のシンボルマーク等計8種類のデザインが生まれ変わりました。

これまでにできなかった商品デザインの統一感を維持することでブランドイメージの向上が期待され、ふるさと納税の返礼品をはじめとするギフト商品としての取扱増加・売上拡大を見込んでいます。

また、図形商標と文字商標「白神地鶏」の商標登録申請についても支援要請があったことから、本会担当者が事業終了後に継続支援することにより申請にかかる一連の手続きを完了しました。

今後は、販促ツールとして自社HPを活用し、販路拡大を図っていく予定です。



【新デザインのパッケージ】

【企業／専門家の声】

今回、「ブランドチャレンジモデル事業」を実施するにあたり、初めのうちは正直不安な部分もありました。それは、弊社が独自で行ったブランディングがあまり形として成功していなかったからです。

しかし、打合せを進め、私達の「想い」がパッケージとして形になっていくのを拝見していくにつれ、商品が1つ上のレベルに上がることを確信しました。

今までにない独自の、女性の皆様にも手にとっていただけるようなパッケージを完成させることができ、大変満足しております。このような機会を与えていただき、大変感謝致します。



【藤田社長】



オリジナル地鶏の育て方や味のこだわりなど、私自身が「食べてみたい」と商品にとっても魅力を感じ、商品の価値を損なうことなくその興味をより多くの人に感じていただけるパッケージデザインを目指しました。

ブランディングの意識が非常に高く、商品イメージが明確でしたのでデザイン案制作の段階からスムーズに進めることができました。

自然の中で凛々しく立っているように象った地鶏のシルエットを白神地鶏のシンボルとしてご活用いただけてうれしく思います。

【mini Graph 企業組合】

理事長 皆川 菜緒(秋田市檜山川口境9番29号 TEL/FAX: 018-811-4046)

本会では、「強い組合・強い企業づくり」を一層推進するため、組合員企業が抱える課題や要望を的確に捉え、中小企業組合の中核的支援機関として会員組合及び組合員企業への支援を通じ、中小企業・小規模事業者の発展に取り組んでまいります。